

事務事業調書

平成27年度

事業No	499	課	土木課	係	河川係	起案者	鈴木豊明
						決裁者	杉浦互
事務事業名	河川新設改良事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 2 河川 1 河川 1 河川整備 1 河川の改修			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	40-15-10	
				総合計画以外の計画	雨水マスタープラン	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	河川が		~になる	整備される	
事務事業の内容	浸水被害解消のため、河川及び排水路の整備を行います。 ・5年確率の計画規模で整備します。 ・安城市雨水マスタープランに基づき、貯めたり、浸透させたりする施設を整備して、”より災害に強いまちづくり”を目指します。					
改善・対策の履歴	流す施設整備に貯める、浸透させる施設整備を含めて浸水対策を行うこととしました。 【平成24年度】雨水マスタープランにある最優先整備河川の準用河川志茂川にて、水田貯留施設を設置しました。 【平成25年度】雨水マスタープランにある最優先整備河川の準用河川志茂川流域の鹿乗、小川町内会において、住民手作りハザードマップを作成しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	88,666	60,421	134,484	129,905	72,008	
財源計	70,963	47,443	124,656	120,077	62,306	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	35,000	24,500	13,500
	県支出金	8,000	0	4,000	3,200	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	62,963	47,443	85,656	92,377	48,806
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	17,703 (2.81)	12,978 (2.06)	9,828 (1.56)	9,828 (1.56)	9,702 (1.54)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	準用河川、排水路整備	見込	494.00	120.00	20.00	40.00
			実績	180.00	177.00	23.00	
	指標名 (単位)	整備延長(m)	活動の総事業費 (千円)	64,531	23,581	36,037	
			活動にかかるコスト (千円)	358.90	133.08	1,566.83	
活動2	活動名 (活動内容)	河川水位観測システム構築(委託・工事)	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	2.00	
	指標名 (単位)	システム構築発注(件)	活動の総事業費 (千円)	8,883	18,004	93,041	
			活動にかかるコスト (千円)	8,883.00	18,004.00	46,520.50	
活動3	活動名 (活動内容)	水田貯留浸透施設委託及び工事	見込	1.00	2.00	1.00	2.00
			実績	1.00	2.00	0.00	
	指標名 (単位)	委託業務及び工事発注(件)	活動の総事業費 (千円)	6,770	7,504	63	
			活動にかかるコスト (千円)	6,770.00	3,752.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	5年確率の降雨量を流すことができる流域面積(ha)		目標	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	3.00	2.00	8.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	家屋床上浸水戸数(戸)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・長配川改修として、根崎調整池を改修したことにより、浸水に対する安全性が高まりました。 ・水田貯留施設の整備については、入札不調により、未契約繰越となり、貯留能力の増大になりませんでした。 ・雨水マスタープランにある最優先整備排水区である二本木第二排水区の二本木連合町内会において、住民手作りハザードマップを作成し、地域住民の意識向上を図ることができました。また、昨年住民手作りハザードマップを作成した、小川・鹿乗町内会においてマップを基に訓練を実施し、地域住民の意識向上を図ることができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・水田貯留整備については、他の多数の工事と入札が重なり、「応札者なし」となり、年度内契約及び完了ができませんでした。
成果	5年確率の降雨量を流すことができる面積については、区画整理事業や他の事業の整備により、目標の面積を達成できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・流す施設は多大な時間と費用を要するため、貯める、浸透させる施設を含めた整備について、費用対効果を踏まえた優先順位を付け浸水被害のないまちづくりを行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・河川・排水路整備は、浸水対策として安心・安全なまちづくりには欠かせない事業であるため、今後も引き続き実施します。 ・雨水マスタープランに基づき、計画的に整備を遂行します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	500	課	土木課	係	河川係	起案者	鈴木豊明
						決裁者	杉浦互
事務事業名					河川環境整備事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 2 河川 1 河川 1 河川整備 3 河川環境整備			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	40-15-10
				総合計画以外の計画	環境基本計画
				関連する総合計画の施策	1-4-1-3-1
				性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	一部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開始	平成03年度	経過	24年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	多自然型に整備された河川を楽しめる
事務事業の内容	河川愛護の啓発のため、準用河川の改修に併せて、川に親しめる水辺を創出します。				
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期に県費補助の協議を行い、事業を順調に実施できました。 ・ 用地交渉により地権者の理解が得られ用地取得をすることができました。 				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	69,869	80,604	62,050	63,805	0
財源計	67,160	75,816	59,593	61,348	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	16,000	52,190	18,000	16,600
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	30,000	30,000
	一般財源	51,160	23,626	11,593	14,748
受益者負担金	0	0	30,000	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,709 (0.43)	4,788 (0.76)	2,457 (0.39)	2,457 (0.39)	0 (0.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	河川改良工事	見込	39.00	110.00	100.00	0.00
			実績	39.00	121.00	102.00	
	指標名 (単位)	改修延長(m)	活動の総事業費 (千円)	67,254	35,053	37,471	
			活動にかかるコスト (千円)	1,724.46	290.17	367.72	
活動2	活動名 (活動内容)	県費補助申請	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	事務(件)	活動の総事業費 (千円)	189	189	63	
			活動にかかるコスト (千円)	189.00	189.00	63.00	
活動3	活動名 (活動内容)	用地取得	見込	725.00	733.00	497.00	0.00
			実績	0.00	733.00	79.00	
	指標名 (単位)	取得面積(m ²)	活動の総事業費 (千円)	0	45,362	26,271	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	61.86	331.96	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	郷東川多自然型護岸改修(m)			目標	582.00	731.00	850.00	0.00
				実績	621.00	742.00	844.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	850.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉により地権者の理解が得られ用地取得をすることができました。 ・県費補助事業として補助金を申請し、市費の歳出を抑制しました。 ・多自然川づくりを実践したことにより、河川全体が自然の営みを取り戻し、生物の生息育成を創出することができ、地域住民の憩いの場とすることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・河川改修工事については、樋管の整備が含まれていたため、メートルあたりのコストは高価になりました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル材(クリーンセンター焼却灰溶融スラグ)を多自然型護岸に利用したことで、経費を抑え、環境に配慮した施工を行いました。 ・成果1において、目標値を実績値が上回っていませんが、工事計画路線全線が完了したため、達成状況は「達成」としました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・平成26年度で郷東川の整備は終了しました。今後も、環境に配慮した河川の整備に努めてまいります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	環境に配慮した事業であり、また治水上也必要となる事業であるため、引き続き計画を立てていきたいと考えています。

事務事業調書

平成27年度

事業No	501	課	土木課	係	河川係	起案者	鈴木豊明
						決裁者	杉浦互
事務事業名					調整池整備事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 2 河川 1 河川 1 河川整備 2 調整池の整備			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	40-15-10
				総合計画以外の計画	雨水マスタープラン、内水対策総合計画
				関連する総合計画の施策	1-4-1-3-1
				性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	一部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開始	平成14年度	経過	13年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	河川流域の市民が		~になる	調整池が整備されることで浸水被害を受け難くなる。
事務事業の内容	平成12年度の東海豪雨をはじめとする集中豪雨や、市街化の進展による雨水の流出増により、浸水被害が多発し、緊急に浸水対策を施す必要性が生じてきました。流域全体の河川流下能力不足を解消すべく、計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図ります。				
改善・対策の履歴	<p>【平成24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次製品の採用により工期短縮を図り、周辺住民への支障の低減が図れた。 ・二本木第1第2児童クラブ、安祥福祉センター、桜井2号調整池、池浦西公園、中部福祉センター駐車場、根崎調整池を整備する際に、雨水貯留施設を設置したことで、20508m3の調整容量を増量することができました。 <p>【平成25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜井区画3号調整池、荒曾根公園、総合リサイクルステーション、ゆたか保育園、丈山児童クラブの整備する際に雨水貯留施設を設置したことで、6,018m3の調整容量を増量することができました。 				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	8,559	4,893	375,017	290,956	434,311	
財源計	7,110	3,633	365,000	280,939	428,200	
財源の内訳	国庫支出金	3,000	0	172,000	102,660	147,000
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	150,000	92,000	132,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,110	3,633	43,000	86,279	149,200
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,449 (0.23)	1,260 (0.20)	10,017 (1.59)	10,017 (1.59)	6,111 (0.97)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	調整池築造	見込	0.00	0.00	660.00	3,460.00
			実績	0.00	0.00	660.00	
	指標名 (単位)	容量(m3)	活動の総事業費(千円)	0	0	282,524	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	428.07	
活動2	活動名 (活動内容)	調整池設計	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	(式)	活動の総事業費(千円)	8,559	4,893	8,432	
			活動にかかるコスト(千円)	8,559.00	4,893.00	8,432.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	調整池・遊水地容量(m3)		目標	345,353.00	362,133.00	370,000.00	382,600.00
			実績	354,266.00	360,284.00	360,284.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	382,600.00	達成状況	達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>・二本木小学校付近の導水管布設工事を通行止めで施工している中で、加えて、JR軌道沿いに増補管布設工事を通行止めでの施工すると、付近住民及び通過交通に多大に支障をきたすことから、増補管布設を平成27年度に送り、付近住民及び通過交通に支障の少ない規制での工事としました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<p>・調整池設計においては、平成25年度は二本木の導水管布設によるJR軌道への影響調査であったが、平成26年度は明治本町公園調整池の基本設計であったため、コスト的には高価になりました。</p>	
成果	<p>・平成26年度は、土木課及び他部署の公共施設内の貯留施設の整備完了が無かったことから、貯留量の容量については、未達成となりました。</p>	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
<p>・他事業による公共施設整備を行う際も、雨水貯留施設を設置するように周知徹底します。その工法についても、二次製品を採用することで工期短縮を図り、また維持管理の容易な方法を指導します。</p>	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>・安城市内水対策総合計画に基づき、調整池整備を進めており、今後も安心・安全が求められているため、浸水対策事業として引き続き事業を推進していきます。</p> <p>・また、境川・猿渡川流域では、安城市特定都市下水道計画が策定されたため、計画に基づき事業を推進していきます。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	502	課	土木課	係	河川係	起案者	鈴木豊明
						決裁者	杉浦互
事務事業名	雨水貯留浸透施設設置事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 2 河川 1 河川 3 浸水対策 2 雨水貯留浸透施設設置の促進		予算科目(会計)	一般会計
			予算科目(款・項・目)	40-15-10
			総合計画以外の計画	雨水マスタープラン
			関連する総合計画の施策	
			性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	有	安城市雨水貯留浸透施設設置補助金交付要綱		
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始	平成15年度	経過	12年目
			終了	
求める成果(目的)	誰(受益者)が	雨水貯留浸透施設を設置した市民が		~になる
		浸水対策に貢献している。		
事務事業の内容	雨水の流出抑制及び雨水の地下浸透を推進し、雨水の有効利用及び良好な水環境を図り、もって地球環境の保全に資するため、雨水貯留施設及び浸透施設を設置する者に対し補助金を交付します。管理協定第5条において当該施設の7年以上の保全が定められており、設置後4年目及び7年目の補助者に対してアンケート調査を行います。			
改善・対策の履歴	市民への啓発活動として、各公民館に雨水貯留タンクの展示、広報あんじょうの掲載やサンクスフェスティバルなどの各種イベントにおけるPRなど、継続的な周知活動に努めました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,937	2,587	4,138	2,545	4,331
財源計	1,417	949	2,500	907	2,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,417	949	2,500	907
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,520 (0.40)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)	1,638 (0.26)	2,331 (0.37)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助申請業務	見込	70.00	70.00	70.00	70.00
			実績	63.00	41.00	38.00	
	指標名 (単位)	申請数(件)	活動の総事業費 (千円)	2,551	2,414	2,419	
			活動にかかるコスト (千円)	40.49	58.88	63.66	
活動2	活動名 (活動内容)	啓発活動 (広報掲載)	見込	3.00	1.00	1.00	1.00
			実績	2.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,323	110	63	
			活動にかかるコスト (千円)	661.50	110.00	63.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	雨水貯留浸透施設設置補助件数(総合計画)(件)			目標	135.00	150.00	160.00	174.00
				実績	283.00	324.00	363.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	174.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	設置者の活用率(%) (指標式=活用者/設置者)(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	啓発活動として広報への掲載や各公民館で雨水タンクの展示、地元町内会へ出向いての雨水タンクのPR活動など啓発活動を行いました。申請受付予定件数を上回る申請はありませんでした。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	広報あんじょうへ掲載することにより、パンフレット折込等の費用を削減しました。住宅新築の建築確認等で住宅建築業者が窓口に相談に見えた際に、貯留槽設置の依頼をしたことにより、費用を掛けずに宣伝することができました。油ヶ渚流域の環境を考える集い発表会等でPR活動を行いました。
成果	広報掲載直後は、住民だけではなく事業者からも多くの問い合わせをいただきました。しかし、申請件数としては今年度38件と昨年度の41件より減少してしまいました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
啓発活動をこれまで以上に行い、もっと住民や事業者に周知いただけるよう積極的に普及活動を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	浸水対策は、行政だけでなく、市民と一緒に推進していくことが必要であり、安全・安心なまちづくりを行っていくためにも、今後も引き続き実施していきます。